平成 23 年度行政評価実施状況報告

＜事務事業の内部評価（５月２日から６月１７日実施）＞

○三沢市総合振興計画前期基本計画に掲げられた平成２２年度実施事務事業を評価の対象として、事務事業担当課による自己評価を客観的に検証し、事務事業の妥当性を判断するため、参事及び課長級職員を内部評価員として実施し、その結果を受け、担当課が平成２４年度の方向性をまとめた。

内部評価実施　　４０７件

自己評価、内部評価の結果

○事務事業の必要性、有効性、効率性について、

５段階【５（極めて高い）　４（高い）　３（普通）　２（低い）　１（かなり低い)】

で点数を付け、これらの合計点と必要性の点数から事務事業の妥当性をＡ～Ｄの４段階で判定し、総合評価とした。

「A」（12点以上で必要性が3以上）	309　件
「B」（9点～11点で必要性が3以上）	79　件
「C」（6点～8点のもの、または9点以上で必要性が2点以下のもの）	18　件
「D」（6点未満のもの）	1　件
計	407　件

○平成２４年度の方向性は次のとおり

現状維持・・・・・・・・・・・・・　３１０件
見直し（縮小（予算を伴う））・・・　　４件
見直し（拡大（予算を伴う））・・・　２３件
見直し（予算を伴わない)・・・・　　３５件
廃止・・・・・・・・・・・・・・・　　４件
事業完了・・・・・・・・・・・・・　３０件
方向性なし・・・・・・・・・・・・　　１件
計　　４０７件

＜施策評価（６月２０日から７月７日実施）＞

○三沢市総合振興計画前期基本計画に掲げられた施策について、施策の進捗状況や、施策を構成する事務事業の優先度等を判断するために、施策主管部長が評価した。

評価対象施策　７３件

施策の進捗状況	自己評価
順調に進んでいる	４０件
概ね進んでいる	３０件
あまり進んでいない	３件
進んでいない	０件
計	７３件

＜外部評価（７月２２日から９月１４日実施）＞

○行政改革推進委員により市民の視点から、事務事業、施策について外部評価を実施。

行政改革推進委員 14 名が 3 部会に分かれて検討し、担当課ヒアリングを実施しながら、施策については進捗状況、事務事業については今後の方向性を主な着目点として審議した。

なお、この外部評価については公開で開催した。

外部評価において詳細審議した施策・・・・１８件

（うち進捗状況について「要検討」という意見を付した施策・・・１０件）

外部評価により意見が付された事務事業・・・　１８件

（うち内部評価と異なる方向性が示された事務事業・・・１０件）

＜外部評価意見に対する方針＞

○外部評価意見に対する方針は行政経営会議において決定された。結果は下記のとおり。

現状維持・・・・・・・・・・・・・　３０３件
見直し（縮小（予算を伴う））・・・　　４件
見直し（拡大（予算を伴う））・・・　２６件
見直し（予算を伴わない）・・・・　４０件
廃止・・・・・・・・・・・・・・・　　３件
事業完了・・・・・・・・・・・・・　３０件
方向性なし・・・・・・・・・・・・　　１件
計　４０７件